

令和3年 第1回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	4 番	松 本 有利子	登壇一問一答方式
2	1 2 番	岩 崎 成 子	一問一答方式
3	5 番	伊 藤 真 一	登壇一問一答方式
4	1 7 番	松 尾 榮 子	一問一答方式
5	7 番	小 川 利 彦	一問一答方式
6	3 番	藤 江 研 一	一問一答方式
7	1 3 番	海老原 作 一	一問一答方式
8	2 1 番	近 藤 瑞 枝	一問一答方式
9	9 番	米 井 重 行	登壇一問一答方式
1 0	1 6 番	増 田 葉 子	一問一答方式

質 問 1

質問者 4番 松 本 有利子

- 1 小中学校における I C T の活用について
 - (1) 今後の方針について
 - ①情報教育推進指定校について
 - ②授業について
 - ③教員間の連携について
 - ④授業以外での I C T の活用について
- 2 子育て支援について
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (2) 子育て支援の周知について

質 問 2

質問者 12番 岩 崎 成 子

- 1 道路並びに歩道の舗装整備について
市民の皆様から、生活に密着した問題として、道路並びに歩道の修繕に関する要望が数多く届いてきます。道路や歩道の破損による事故等を心配する声です。道路の舗装修繕は舗装修繕計画によって進められていることと思います。そこで伺います。
 - (1) 「市道山田・平賀線」の整備について
 - ①舗装整備改良事業の進捗状況は
 - ②大雨等で冠水する中平橋付近の対策は
 - ③「市道山田・平賀線」、中平橋の横の橋と歩道の整備は
 - (2) 平賀学園台内の主要幹線道路「市道油作・仲ノ台線」について
 - ①舗装整備の計画は
 - (3) 平賀学園台内の生活道路について
 - ①舗装整備の計画は
 - (4) 平賀地区と佐倉市との境である飯田橋付近の道路について
 - ①舗装整備の状況は

- (5) 平賀地区の「市道一ノ台・平方橋線」について
 - ①舗装整備の状況は
- (6) いには野地区の「市道舞姫1号線」の歩道について
 - ①舗装整備の状況は

質 問 3

質問者 5番 伊 藤 真 一

- 1 G I G Aスクールにおける市の構想について
 - コロナ禍で小中学生に1人1台端末を整備する「G I G Aスクール構想」の前倒しが進み、全国の教育現場でさまざまな課題があがっています。
 - (1)「個別最適」と「協働」を、市ではどの様に考えているのか伺います。
 - (2)「デジタル教科書」導入の対応は、十分に取られているのか伺います。
- 2 福祉タクシー利用条件の拡大について
 - 市の在来地区には、健康な高齢者でも買い物等に行く際に、片道数十分もかかる方が多数おられ、自立・要支援の方でも途中での足腰のトラブルで動けなくなってしまう方もいる現状から、何かしらの対応が求められています。
 - (1)利用条件の緩和について、市の考えを伺います。
 - (2)今後の助成額について、市の見解を伺います。

質 問 4

質問者 17番 松 尾 榮 子

- 1 (仮称)「コスモス通り」について
 - 印西市の北部駅圏と千葉ニュータウン地区を結ぶ千葉竜ヶ崎線バイパス「(仮称)コスモス通り」について伺う。
 - (1)進捗状況。

- (2) 令和3年度からの新・印西市総合計画(案)及び新・印西市都市マスタープラン(案)において、「(仮称)コスモス通り」の名称が消えた経緯について。
- (3) 「コスモス通り」は、これまで市の総合計画、都市マスタープランにおいて「(仮称)コスモス通り」の名称で掲載されてきたが、その経緯は把握しているか。
- (4) 同道路は、都市計画道路3・4・41号「竹袋・草深線」から「竹袋・大森線」へと路線名も変更になっているが、計画自体に変更はないのか。
- (5) 「(仮称)コスモス通り」の名称について、今後どうしていく考えか。

2 新型コロナ感染症対策について

印西市における新型コロナ感染者数は、令和2年、3月の1人目から12月末までの10カ月で累計135人、月当たりの最高は12月の49人であったが、令和3年1月31日には累計301人、1月の新規感染者数が166人と、1カ月で昨年の10カ月分を超える緊急事態となった。そこで伺う。

(1) 自宅療養者への支援について

不幸にも新型コロナに感染したが、入院やホテル療養ができず、自宅待機・自宅療養となっている一人暮らし等の市民への支援体制について。

(2) 新型コロナ感染症に関する市民への情報提供について

市内における感染状況を市民一人ひとりが正しく認識し、冷静に感染予防に取り組んでいくために、感染状況等の正しい情報は大変重要であると考えます。一方、感染情報に伴い、感染者への偏見や差別も大変大きな問題になっている。そこで伺う。

- ①市内の小中学校、公的施設等における感染情報はどのように公表しているか。
- ②感染者への偏見や不当な差別が起こらないよう、どのような対策をしているか。
- ③近隣他市の感染情報の公開状況について把握しているか。
- ④市内でも感染者が急増した令和2年12月から令和3年1月にかけて、市内の具体的な感染状況が一般市民にはほとんど伝わらなかったことにより、市民の中には「一体市内のどこで発生しているの」と身近に現実感・危機感が感じられないという状況があった一方、合計数字のみが急増し具体的な情報がないために、根拠のない噂や憶測が流布し、発生時の対応やその後の終息等の状況が市の関連情報のホームページなどでも確認できず、いたずらに市民の不安感がつのるという状況も見られた。かつてない感染症の拡大場面にあたり、市民一人ひとりができる感染予防への取り組みを促すために、市内の状況を個人情報に配慮しつつどのように公表していくか考えを伺う。

質 問 5

質問者 7番 小 川 利 彦

1 印西市の農業施策について

第1次基本計画（素案）において、農林業の振興という部分から農業に関する部分となります。

施策の目指す姿では、担い手や生産基盤の整備により、農業経営の安定化を図る。という事があり、取組方針に書かれていることは現場との相違を感じておりますので伺います。

- (1) 農業労働力確保、農地集約、農業経営基盤の強化の具体的な印西市の取組みについて
- (2) 農業用施設等の老朽化に伴う印西市の役割について
- (3) 美しい景観形成や大雨時の貯水機能などの多面的な機能を有する農地に関して、印西市としての取組みについて
- (4) 印西市から見る農業とは、どの様に捉えているか

質 問 6

質問者 3番 藤 江 研 一

1 子育て安心社会の実現について

- (1) 小学校への35人学級の導入
 - ①学級数拡大の見通し
 - ②普通教室の確保
 - ③必要な教員の確保
- (2) 1人1台の小中学校用教育パソコン導入
 - ①校内LAN、移動式アクセスポイント設置状況
 - ②パソコン総計10,739台の配備状況
 - ③教員の研修状況
 - ④ICT支援員の確保状況
 - ⑤デジタル教科書の導入
- (3) 待機児童問題
- (4) 不妊治療の拡充
- (5) 不育症の助成

2 印西市における各種支援制度の実施状況と今後の課題について

- (1) ひとり親世帯臨時特別給付金（2回目）
- (2) いんざい応援クーポン
 - ①配布世帯数、対象者数、クーポンの総額とこれまでに利用されたクーポンの金額
 - ②今後の市民への周知
 - ③利用者、店舗から寄せられた声や今後の課題
 - ④今後、市として印西市の事業者支援を再度行う考えがあるか
- (3) 高齢者等へのPCR検査
 - ①申込者数（うち郵送による申込数、特設センターでの申込数）
 - ②3密回避など特設センター申込者への対応状況
 - ③日本郵便による検査検体郵送ルールの見直し
 - ④検体送付者数と検査結果報告状況及び結果判明後の対応状況
 - ⑤市民からどのような相談があったか
- (4) 市独自の子育て世代への臨時特別給付金（令和3年4月1日までの新生児1人に10万円）

3 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者支援について

- (1) 自宅療養者数の推移
- (2) 保健所との連携強化
- (3) パルスオキシメーターの備蓄・貸与
- (4) 自宅療養者への食料支援

質 問 7

質問者 13番 海老原 作 一

1 新しい生活様式における通信技術の活用について

- (1) 人と人が接触しない電子決済を活用した税・使用料の納付について
 - ①市の納税方法について
 - ②千葉県企業局による上下水道利用料の納付方法はどうか。
- (2) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（以下、COCOAという）について
 - ①COCOAについて市の認識はどうか。
 - ②スマートフォンユーザーにCOCOAの導入勧奨を行う考えはあるか。

- (3) スマートフォンによる決済システムを活用した地域経済対策について
- ①他市の動向について
 - ②地域経済対策及び生活支援として活用することを考えてはどうか。

質 問 8

質問者 21番 近藤 瑞枝

1 令和3年成人記念式典開催中止について

新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中、昨年12月下旬の県の集計では、54市町村のうち35市町村が成人記念式典を実施予定であったが、1月8日時点で38市町が式典中止、9市町が延期、実施予定は7市町村となった。当市は12月28日に成人記念式典開催中止を決定し、ホームページにその旨を掲載した。

- (1) 式典開催中止決定に至るまで、どのような議論があったか。
- (2) 新成人やその家族からはどのような反応があったか。
- (3) 時期を改めて然るべき方式での開催を検討できないか。

2 キッズ・ゾーンの整備について

令和元年5月、滋賀県大津市の交差点で、散歩中の保育園児16人が死傷する事故が発生した。同年11月12日、厚生労働省は「キッズ・ゾーンの設定の推進について」との通知を発出した。キッズ・ゾーンとは、「保育所等が行う散歩等の園外活動の安全を確保するため、今般、小学校等の通学路に設けられているスクールゾーンに準ずる」ものである。船橋市では、令和2年7月、保育所等が多く集まる地区で園児の散歩など園外活動の安全確保をし、交通安全対策を強化するため、県に先駆け、市内3地区をモデル地区としてキッズ・ゾーンを整備した。

当市では、令和2年10月9日、牧の原六六自治会長、かふう保育園いんざい園長、HALO保育園長の連名で、「横断歩道等の安全対策の実施とキッズ・ゾーンの整備について」とする要望書が市長に手渡されている。

- (1) キッズ・ゾーンの整備への取り組み状況はどうか。
- (2) 今後、どのように進めていくのか。

質 問 9

質問者 9番 米 井 重 行

- 1 コロナ禍における学校教育
 - (1) 新年度の就学スケジュール
 - (2) ギガスクール構想の早期実現
- 2 学校適正配置
 - (1) 子どもらしい教育環境の整備
 - (2) 選べる学校制度

質 問 10

質問者 16番 増 田 葉 子

- 1 地域の歴史や文化に親しむ施策を
長引くコロナ禍で、市民の意識や活動も変化してきているものと思われます。いわゆる「おうち時間」を充実させるための消費行動やごみの排出、地域の感染状況を知るための地域情報への志向、手近なところでの観光など、コロナ禍以前よりも地元や地域への意識が高まっているのではないのでしょうか。多くの市民に、地域を知り、地域に親しんでもらう施策に、今まで以上に力を入れていくべき時だと考えます。そこで、地域の歴史を保存し、市民に親しんでもらう施策を担う資料館の役割について伺います。
 - (1) 3資料館の来館者数の推移はどうなっているか。
 - (2) 3資料館でコロナ禍に対応した施策は何か実施されたか。
 - (3) これから収蔵していくべき資料はどのようなものがあるか。
 - (4) 公共施設適正配置アクションプランで示されている内容は、現在どのよう
に検討されているのか。